

全日本空手道連盟糸東会
Japan Karatedo Federation Shito-kai



糸東会

2010.10.1 No.238

平成22年10月1日発行(季刊)年4回発行
定価500円(本体476円)

The 50th All Japan Shito-kai Karatedo Championships
第50回糸東会全国大会 開催



■全日本空手道連盟糸東会ホームページ <http://www.karatedo.co.jp/shitokai/>

■世界糸東流空手道連盟(WSKF)ホームページ <http://www.karatedo.co.jp/shitokai/wskf/>

【第50回空手道糸東会全国選手権大会】

2010年8月28日～29日 会場：大阪市中央体育館

The 50th All Japan Shito-kai Karatedo Championships Date: 28th-29th August Place: Osaka Central Gymnasium

開祖摩文に賢和先生生誕120年及び第50回という大きな節目の大会、海外からも参加があり、大きな盛り上がりを見せた。初日、岩田源三大委員長の開会宣言で大会が開始、12コートに分れ、幼児・小学生の形種目からスタート。レベルの高い戦いが次々と繰り広げられた。翌日は、開会式・開祖摩文に賢和先生生誕120年の記念式典後、各種目の決勝ラウンドがスタート。次々と決勝者が決まって行った。

The 50th All Japan Shito-kai Karatedo Championships was held as a memorial event of the 120th Anniversary of the Birth of Sensei Kenwa Mabuni. Teams from Mexico, Russia and Kazakhstan and individuals from Korea and Dominica joined us and we had good matches.

幼児からシニアまでの各種目と、12コートに分かれた大会。海外からも参加があり、大きな盛り上がりを見せた。初日、岩田源三大委員長の開会宣言で大会が開始、12コートに分れ、幼児・小学生の形種目からスタート。レベルの高い戦いが次々と繰り広げられた。翌日は、開会式・開祖摩文に賢和先生生誕120年の記念式典後、各種目の決勝ラウンドがスタート。次々と決勝者が決まって行った。

幼児からシニアまでの各種目と、12コートに分かれた大会。海外からも参加があり、大きな盛り上がりを見せた。初日、岩田源三大委員長の開会宣言で大会が開始、12コートに分れ、幼児・小学生の形種目からスタート。レベルの高い戦いが次々と繰り広げられた。翌日は、開会式・開祖摩文に賢和先生生誕120年の記念式典後、各種目の決勝ラウンドがスタート。次々と決勝者が決まって行った。





糸東流空手形全集シリーズ ALL KATA OF SHITO-RYU KARATE

形を学ぶために、各事象の解説・分解組手等、全てをわかりやすく公開!



DVD
Vol.1 ~ Vol.8
各 6,000 円



BOOK
BOOK (JPN & ENG)
Vol.1 3,000 円
Vol.2, 3 3,500 円

ORDER FROM OVERSEAS

http://www.karatado.co.jp/champ/e_index.html

商品のお問合せ・ご注文はこちらまで <http://www.champ.shop.com/>

CHAMP 03-315-3190 (株)チャンプ 営業部 03-3312-8207

03-3315-3190 03-3312-8207

第50回
空手道糸東会全国選手権大会
の写真を販売いたします!

商品のお問合せ・ご注文はこちらまで

THE KARATE WORLD 写真館

<http://www.karatado.co.jp/kw-photo/>

平成22年度糸東会表彰者一覧 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

【功労賞(5名)】

1. 池田正男(前常任理事・定年)
2. 早川忠仁(前理事・定年)
3. (故) 寺坂行雄(前鳥取県糸東会会長・前理事)
4. (故) 北原隆雄(前理事)
5. (故) 加藤一男(前理事)

栄誉選手賞】

1. 福田崇(山梨県) 第9回アジア空手道選手権大会 男子団体形優勝(2009. 9/25～27. 中国)
2. 矢野彰(山梨県) 第53回全日本学生空手道選手権大会 女子個人形準優勝(2009. 6/21. 日本武道館)、全日本学生空手道選手権大会 女子団体形優勝
3. 坂本清(兵庫県) 第48回・第49回空手道糸東会全国選手権大会 シニア男子形 2年連続優勝
4. 木庭月花(兵庫県) 第48回・第49回空手道糸東会全国選手権大会 小学1・2年生女子組手優勝、小学3年生女子組手優勝(2年連続優勝)
5. 梶川真美(大阪府) 第6回糸東流空手道世界選手権大会 女子個人形優勝(2009. 8/20～23中国)、第53回全日本学生空手道選手権大会 女子個人形 優勝(2009. 6/21 日本武道館)
6. 鶴山千紗(大阪府) 第36回全国高等学校空手道選手権大会 女子個人形優勝(2年連続)(2009. 8/4～7 兵庫県)、第64回国民体育大会空手道競技 少年女子形優勝(2009. 10/2 新潟県)
7. 奥谷有加(奈良県) 第6回糸東流空手道世界選手権大会 女子団体形優勝(2009. 8/20～23中国)
8. 中西祥子(香川県) 第6回糸東流空手道世界選手権大会 女子個人形優勝(2009. 8/20～23中国)
9. 大塚朋枝(大阪府) 第6回糸東流空手道世界選手権大会 女子個人形優勝(2009. 8/20～23中国)
10. 大木格(山梨県) 第9回アジア空手道選手権大会 男子個人形優勝(2009. 9/25～27中国)、第37回全日本空手道選手権大会 男子形準優勝(2009. 12/13日本武道館)
11. 福田隆宏(兵庫県) 第6回糸東流空手道世界選手権大会 男子個人形優勝(2009. 8/20～23中国)、第6回糸東流空手道世界選手権大会 男子団体形第3位(2009. 8/20～23中国)
12. 寺本吉希(大阪府) 第6回糸東流空手道世界選手権大会 男子団体組手優勝(2009. 8/20～23中国)
13. 萩原浩人(大阪府) 第6回糸東流空手道世界選手権大会 男子団体組手優勝(2009. 8/20～23中国)、第6回糸東流空手道世界選手権大会 男子個人組手中量級準優勝(2009. 8/20～23中国)、第64回国民体育大会空手道競技 成年男子組手中量級準優勝(2009. 10/2 新潟県)、第37回全日本空手道選手権大会 男子組手第3位(2009. 12/13日本武道館)、第53回全日本学生空手道選手権大会 男子個人組手準

優勝(2009. 6/21 日本武道館)

14. 西内真由(大阪府) 第6回糸東流空手道世界選手権大会 男子個人組手中量級準優勝(2009. 8/20～23中国)、第6回糸東流空手道世界選手権大会 男子団体組手優勝(2009. 8/20～23中国)
15. 土居千真(大阪府) 第6回糸東流空手道世界選手権大会 男子個人組手軽量級第3位(2009. 8/20～23中国)、第6回糸東流空手道世界選手権大会 男子団体組手優勝(2009. 8/20～23中国)
16. 山口泰史(大阪府) 第6回糸東流空手道世界選手権大会 男子個人組手軽量級優勝(2009. 8/20～23中国)
17. 酒巻美優(大阪府) 第9回全日本少年少女空手道選手権大会 小学6年生女子形優勝(2年連続)(2009. 8/8 東京武道館)
18. 田原武豊(三重県) はまなす杯第4回全国中学空手道選抜大会 男子2年形優勝(2年連続)(2010. 3/27～29 北海道)、第6回世界ジュニア&カデット空手道選手権大会 カデット男子形第3位(2009. 11/12～15 モロッコ)
19. 船橋真道(大阪府) はまなす杯第4回全国中学空手道選抜大会 男子2年組手優勝(2010. 3/27～29 北海道)
20. 船久保絢哉(山梨県) 第9回全日本少年少女空手道選手権大会 小学6年生男子形優勝(2年連続)(2009. 8/8 東京武道館)
21. 岸田優希(大阪府) 第9回全日本少年少女空手道選手権大会 小学5年生女子形優勝(2009. 8/8 東京武道館)
22. 福土百合子(北海道) 第6回世界ジュニア&カデット空手道選手権大会 カデット女子形準優勝(2009. 11/12～15 モロッコ)
23. 中嶋俊文(神奈川県) 第29回全国高等学校選抜大会 男子個人形優勝(2010. 3/25～27 宮城県)
24. 丸石史温(愛媛県) 第48回・第49回空手道糸東会全国選手権大会 小学3年生組手2年連続優勝
25. 宮岩安史(愛媛県) 第5回全日本障害者空手道競技大会 女子形の部優勝(2009. 9/18 静岡県武道館)、第5回全日本障害者空手道競技大会 女子組手の部準優勝(大阪府)(2009. 9/18 静岡県武道館)
26. 上田涼雅 第5回全日本障害者空手道競技大会 男子形組手優勝(2009. 9/18 静岡県武道館)

【年間優秀選手賞】

1. 山口航(愛媛県) 第6回糸東流空手道世界選手権大会 男子個人形準優勝(2009. 8/20～23中国)、第6回糸東流空手道世界選手権大会 男子団体形第3位(2009. 8/20～23中国)
2. 戸口大輝(埼玉県) 第64回国民体育大会 少年男子個人形準優勝(ときめき新潟国体)

糸東流開祖摩文仁賢和先生 生誕120年祝賀会開催

開催日：平成22年8月28日
場所：ホテル大阪ベイタワー（大阪市港区）

Date:
28th August, 2010
Place:
Hotel Osaka Bay Tower
The Celebration Party of
the 120th Anniversary of
the Birth of SENSEI
KENWA MABUNI, the
Founder of Shito-ryu.

今年の全国大会は、糸東流開祖摩文仁賢和先生生誕120年を記念する大会であつた。大会1日目の28日、予定競技を全て終了し、ホテル大阪ベイタワーにおいて「糸東流開祖摩文仁賢和先生生誕120年祝賀会」が開催された。

28日午後6時30分よりホテル大阪ベイタワーにおいて「糸東流開祖摩文仁賢和先生生誕120年祝賀会」が、多くの来賓者、関係者を迎えて盛大に開催された。

開会に先立ち、同会者から開祖の略歴が紹介され、首里手の糸洲安恒先生、那覇手の東恩納寛量先生のお二人に師事されたいきさつ、沖縄から大阪に居を移された空手道を普及されたご苦労、師事したお二人の師からお名前の頭文字を頂いて糸東流を創始されたことなどが紹介された。

開会の挨拶を糸東会副会長・今西俊之



開会の挨拶をする今西俊之副会長。



摩文仁賢和宗家の挨拶。



摩文仁賢和副宗家の挨拶。



村田雅会長の挨拶。



祝辞 三本同氏。



祝辞 友寄隆一郎氏。



祝辞 山田君賢氏。



祝林の発声をする水口博文副理事長。



開会の挨拶をする山田君三理事長。

氏が先行い、来賓の皆様への感謝を述べられた。続いて摩文仁賢和宗家が挨拶に立たれ、宗家にとつてはお父上である開祖の思い出を話され、続いて開祖から見るとお孫さんに当たる摩文仁賢達副宗家のご挨拶に立たれ、来賓の皆様への謝辞を述べた。

また、二宗家は今年で92歳という高齢ですが、8月にはフランスにて指導に当たりました」と紹介し、会場内には驚きの声が上がった。その後、糸東会会長の村田寛氏が立ち、謝辞及び開祖の功績を讀

来賓を代表し全日本空手道連盟副会長・三本同氏が、開祖の功績及び糸東会の発展を寿ぎ、全日本空手道連盟近畿地区評議会議長・友寄隆一郎氏は、少年時代に開祖から直接指導を頂いたお話を披露された。その後、西日本実業団空手道連盟会長山田君賢氏が挨拶に立たれ、糸東会と実業団との関係を述べ、お祝いを語った。

アトラクションとして時岡由佳・麗川凜美・鶴山千紗の三人による団体形演武、チャタングラクーシャンが披露され、その素晴らしい会場はしばしば息を吞んで見入った。

続いて、乾杯の発声を糸東会副理事長・水口博文氏が由高らかに行ない、その後賑やかに歓談が行われ、それぞれテーブルで空手談義に花を咲かせた。

名残惜しさ一杯であったが、翌日に大会の後半を控えており、予定の9時30分には岩田源三理事長が開会の辞に立たれた。これからの糸東会、ひいては空手界全体の発展を祈りつつ、糸東流開祖摩文仁賢和先生生誕120年祝賀会の宴はお開きとなった。



アトラクションの演武。



祝賀会の様子。



小学6年生男子形第3位
平藤晋一(朗井浦南海防塾)



小学6年生男子相手
第3位・田村仁(英心館)



小学6年生男子相手優勝
芝木航夫(駒込通都東区支部)

第10回全日本少年少女空手道選手権大会

■日時
平成22年8月7~8日
■場所
東京武道館

糸東会選手の活躍
おめでとう！ 日本全国の糸東会道場で練習を重ね、皆さんを代表して、この夏の全国大会に出場した、高校生・中学生・小学生の皆さんの入賞結果です。



小学3年生女子形
第3位 井上紅翠(至誠塾)



小学3年生男子形
優勝 橋山龍星(分水支部)



小学5年生男子相手
第3位 伊達文哉(豊原塾尚塾)



小学6年生男子形
第3位 奥藤大志(修心館)



男子団体相手準優勝
航空中学校
希代駿(修心館)



男子個人形
第3位 深澤拓輝(英心館)



男子個人相手
第3位 船橋真道(拳友会)



男子個人相手
優勝・今尾光(太西会)

第18回全国中学生空手道選手権大会

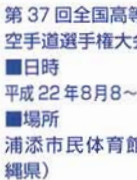
■日時
平成22年8月14~15日
■場所
宮城県総合運動公園
総合体育館



女子個人形・第3位
車阪みゆ(清雲学院宮城校)



男子個人形・第3位
青島(栗本館(新和会部))



第37回全国高等学校空手道選手権大会

■日時
平成22年8月8~11日
■場所
浦添市民体育館(沖縄県)



男子団体相手優勝
関西大学連携空手道中学校
今尾光(太西会)
津川尚(至誠塾)
船橋真道(拳友会)



ジュニア男子形優勝
中嶋文俊(横浜栄栄会)



21アンダー男子個人相手7kg
優勝・近藤大地(千政館)



カデット男子個人相手57kg
第3位 船橋真道(拳友会)



カデット男子個人相手70kg
優勝・今尾光(太西会)

第10回アジアジュニア&カデット、21アンダー空手道選手権大会

■日時
平成22年8月5~8日
■場所
香港



男子1部形・準優勝
長川伸一(鹿川空道スクール)



男子相手4部・第3位
吉田隆(正流会高野支部)



男子相手6部・優勝
木村政勝(千政館)



男子相手7部・優勝
村上仁志(福山支部小立館)

日本スポーツマスターズ2010 三重大会 空手道競技大会

■日時
平成22年9月18~20日
■場所
四日市中央緑地体育館
/第2体育館



女子形2部・第3位
中瀬真知(富山支部白新館)



女子形1部・第3位
小林美由紀(寛永中館)



女子相手部・準優勝
山崎美奈子(富山支部白新館)

第12回糸東流 アジア太平洋地区大会

開催日：2010年6月30日～7月4日
場所：インドネシア（首都ジャカルタ）

平成22年6月30日から7月4日まで、インドネシアの首都ジャカルタにおいて「第12回糸東流アジア太平洋地区大会」が行われました。

試合は7月3日・3日の2日間で行われ、ジュニア、シニア（Jr.Senior）の部に出場した日本選手は、地元インドネシアの応援を背に、金・銀・銅・総計24個のメダルを獲得することができました。

今大会の形種目では、海外勢の力躍感溢れる形に圧倒される場面があり、緊張感漂う試合が多数ありました。

海外選手が、日本国内との差を感じさせない成長を遂げていることが、随所に目撃されました。

また、相手種目では、初めてWKFの新ルールで行なう国際大会となりました。このため、4分間の試合やカテゴリー1・2の累積など、戸惑いアゲースが多々あり、WKFの競技規定に準じた対応を早急を考え、今後の選手強化に役立てていきたいと思います。



シニア男子団体形優勝チーム。



ジャカルタでの食事風景。

大会	男子種目	順位	代表	女子種目	順位
元朝堂杯	60-70kg	3	藤井 隆	60-70kg	1
分都電機	60-70kg	2	土田貴弘	60-70kg	1
松本通信	60-70kg	1	藤田謙士	60-70kg	2
松本通信	70-80kg	1	丸山英典	70-80kg	1
松本通信	80-90kg	2	北尾隆也	80-90kg	1
松本通信	90-100kg	3	藤田 誠	90-100kg	3
松本通信	100kg以上	2	山田 航	100kg以上	3
松本通信	100kg以上	1	藤田謙士	100kg以上	1
松本通信	100kg以上	2	伊藤真文	100kg以上	2
松本通信	100kg以上	3	藤田 誠	100kg以上	2
松本通信	100kg以上	1	西平昌浩	100kg以上	2
100kg 以上	100kg以上	2	藤田 誠	100kg以上	2
100kg 以上	100kg以上	1	北藤大規	100kg以上	1
女子団体	60kg以下	3	女子団体	60kg以下	2
女子	60kg以下	2	藤井 隆	60kg以下	2





アジア大会での感想
小学5年生
松本 孝成 (兵庫県・五箇会東道支部)

ほくは、アジア大会で形と相手に出場しました。最初は外国人の人がどんな形をうつのかなあと思っていました。あと、ほかのJAPANの人に勝てたかなあと心配していましたが、ゆう勝できて良かったです。相手では、最初の方は全然調子が上がらずやばかったけど、そんな時に、先ばいやコーチの人にアドバイスしてもらって勝てたので、本当に感謝しています。最後には、りよう方ゆう勝できていたのでとてもうれしかったです。次、海外に来る時は、もっと強くなって連ばできるようながんばりたいです。



アジア大会のことについて
小学5年生
中野 克海 (兵庫県・五箇会東道支部)

ほくは、アジア大会で形、組手をエントリーしました。形は金メダルまでもうらよかったけど、銀メダルをもらえてうれしかったです。組手はいろいろなお兄ちゃんや先生に見てもらって、声もかけてくれたのですごく感謝しています。組手は3位だから、次、海外に行くときは、形、組手はまけないようにがんばりたいです。



アジア大会のことについて
小学6年生
陰地 凌芽 (兵庫県・五箇会東道支部)

試合直前、かんとくに「次やぞ」といわれ、海外の選手を前にふだんどちらがうきんちょうの中、コートに立ちました。判定の時、旗がわかれたので負けたと思ったら、3対2で勝っていました。それから数試合して、あつという間に決勝戦となりました。相手はイランの選手です。こいパワフルなスーパードリベインで、結果は3対2で負けてしまいました。が、くいはなかったです。結果は準優勝。応えんしてくれた道場のみんな、先生方、本当にありがとうございます。



アジア大会のことについて
小学5年生
矢萩 歩夢 (栃木県・足利南支部報國塾)

ほくは日本代表の形の選手なので形でエントリーしました。ほくはじゅくのみんなに金メダルを取ってくださったのはくは形で2位だったので、とてもくやくしていただきませんでした。だけど、初のアジア大会で3位を取れたのでよかったです。

全日本空手道連盟 糸東会 指定道衣



空手道衣
空手用品

空手衣の 尚武

— 胸マーク、個人名のネーム加工等、敏速に対応致します。 —

SHOBU
JAPAN WEAR A GROUND

〒405-0018 山梨県山梨市上神内川996-2
TEL 0553-23-5320 FAX 0553-23-5340

※AⅠ・AⅡの上下別売りは、6:5となります
※SⅠ・SⅡは上下セット(別売はありません)

東・西に分かれて ジュニア サマーキャンプ 開催

Summer Camp for Junior Members

東日本、西日本で、それぞれジュニア選手のサマーキャンプが開催。西日本は、大阪商業大学の空手道部と宿泊施設を借り8月25日～27日に、東日本は8月18日から20日まで山梨県にある日本航空学園にて行われた。

A summer camp was held each in East Japan and West Japan. One was held on 18th-20th August at Japan Aviation Academy in Yamanashi Prefecture in East Japan, and another on 25th-27th August at the karate dojo and accommodations of Okaka University of Commerce in West Japan.

西日本 ジュニア・サマーキャンプ

開催日：2010年8月25日～27日
場所：大阪商業大学・空手道場

参加者：50名

昨年に引き続き、大阪商業大学の空手道部の道場と宿泊施設を借り、サマーキャンプが行われました。

今年の夏は記録的な猛暑となり、随時水分補給をしながらの稽古という状況。激しい暑さでしたが、全員が元氣一杯に練習に励み、具体的な技術を体得。

組手選手は、全空連から出された「新ルール」に対応することを念頭に、「寸止めルール」の徹底を図り、ハイスコアにつながる「上段蹴り」を各種練習。状況に応じて「上段蹴り

り」を使う方法を学びました。さらに、投げにつながる「足払い」の具体的な方法を練習。

形選手は、糸東会のジュニアとして恥ずかしくない技術を身に付けて欲しい、そして、技の徹底と統一をしっかりとって欲しいとの厳しい練習が行なわれました。さらに、分解の意味と把握をしっかりと身に付けることを徹底。

この他、全員で、「リズムとタイミング」を身体に染み込ませるという目的で、講師に木村剛子先生を迎え、「エアロビクス空手」を実践しました。

今回のサマーキャンプにおいては大阪商業大学のOB会長である東海誠生先生、監督を務める清水基示先生には大変お世話をいたいただき、誠にありがとうございました。

■参加指導員
選手強化委員長・矢部満彦
強化委員・江藤保
強化委員・山田ゆかり



参加者全員で記念写真。

東日本 ジュニア・サマーキャンプ

開催日：2010年8月18～20日
会場：日本航空学園 空手道場

参加者：約100名(糸東会ジュニア約60名)

去る、8月18日から20日まで山梨県にある日本航空学園において、糸東会東日本ジュニア対象のサマーキャンプを実施。昨年も好評で、ぜひ今年もという声が多く、早くから問い合わせがありました。

日本航空学園は、中・高一貫の学校で、空手道部も中・高が、体となって練習に励んでいます。元全空連日本ナショナルチームキャプテンとして活躍した樋口



50名もの参加者が集まった。

大樹先生が顧問をされ、現在約30名の部員が高体連や全中の頂点を目指し活躍しています。

今回の合宿は、猛暑の中の稽古ということで、特に忍耐力や集中力が必要となり、空手の技術向上は当然ですが、肉面的な精神力に繋がる合宿となりました。また、基礎体力の重要性と共に、体力を維持する食の大切さなど夏合宿ならではの貴重な体験となる3日間でした。

全国トップクラスの高校生に混じった稽古であり、取組む姿勢や気迫、気合など、多くを体感することができ、大きな学びとなりました。身体的にも辛いメニューでしたが、参加した約60名には良い夏休みの思い出となったようです。

学校施設はもとより、コーチまで引受けて頂きました樋口先生に感謝すると同時に、身の回りの世話をしてくれた日本航空学園空手道部員の皆さん、本当にありがとうございました。

■参加指導員

技術本部長・野澤幸洋

選手強化委員・樋口光司／長谷川克英

特別講師・樋口大樹

助手・関根寛和



滑走路を使つての、朝練習。



指導員の挨拶。



練習場いっぱいになり、準備運動。



滑走路でのダッシュ。



先生もみんなでの集合写真。



寝りの練習風景。



サマーキャンプに参加して
小学校4年生
島倉健輔(横浜東栄会)

はじめて、2泊3日の合宿に参加しました。1日目、昼食後に体操、ランニング、基本の練習をしました。きつかったです。次に形と組手を練習しました。

ぼくは、形の練習をしました。練習が終わってお風呂に入り昼食後はなくなったお友達と一緒に遊びました。

2日目、さんちようしていたのか5時半に目が覚めました。足が筋肉痛で階段を下りる時は手すりを持たないと降りられませんでした。

6時半からは体操、航空学園のかつ走路を走りました。朝食後、2日目も形の練習をえらびました。二ノバイボの形をうちました。こまかいところなど練習

ができたのでよくわかりました。二人一組になって試合で使う平安形もうちました。1日がとても長かったです。夕食後はミーティングがあり自己紹介をしました。お友達の話はおもしろかったです。ぼくはドキドキしました。

3日目も5時半に起きました。体操、かつ走路を走る時には筋肉痛で早く走ることができませんでした。馬とびもしました。朝食後は基本、3日目も形

をえらびました。先生からは、けりの練習をしている時に「上半身の力をめくように」と言われました。

3日間あったという間でした。友達もたくさんできました。また来年も参加したいです。先生方ありがとうございます。



レベルを上げる、サマーキャンプ
小学5年生
関根藍美(順道館)

今回サマーキャンプに参加した目的は、糸東会の全国大会があるのと自分のレベルを上げる為に行きました。

私は小柄なので私と同じ学年の糸東会全国大会優勝の子やジュニア強化の子たちも沢山の練習に付いて行けるか不安でした。

場所は、山梨県の日本航空学園の空手道場とそこに宿泊施設に泊まりました。まず最初に宿舎に行き部屋割りをしました。東京からの参加者は5人で、サマーキャンプの場所が山梨県だったので、山梨の子たちが

凄く多かったです。最初の基本練習は、長谷川先生の指導から始まりました。ジュニア強化選手達に負けないように一生懸命、頑張りました。形と組手に別れて、私は形の方に行きました。

1日目は、基本重視の練習で終わりました。夕ご飯を食卓で食べて、皆でお風呂に入りました。夜は、沢山の人と話を楽しくしました。

2日目の朝は早く、5時に起きて6時からトレーニングが始まりました。航空学園なので滑走路があるので、そこでマラソンをしたりダッシュや後ろ向きで走ったり色々なトレーニングをしました。その中で、しゃがみながら歩くのとシャトルランが凄くキツかったです。

朝の練習だけで、筋肉痛になってしまいました午前と午後の練習がいつもよりキツかったです。

暑い日が続いていて具合が悪くなった人も居たけど良い練習が出来たと思います。友達も沢山できて、一流の先生方に指導してもらいました。

来年も参加したいと思っています。サマーキャンプに出

てみて、大きな大会で上位に入りたいと強く思っています。



サマーキャンプに参加して
中学1年生
塔野岡谷(矢部道場)

8月25日、27日まで、大阪商業大学で行われた、サマーキャンプに参加しました。

1日目
・突き・蹴りの基本練習
・足払い・蹴りなどの足技
・相手の実践練習

二人一組になり、先生方の見本を見ながら練習しました。特に難しかったのは足払いです。相手を二瞬で倒すのは難しいです。

2日目
・相手の上段・中段突きの返し技
・相手の実践練習
四人一組になり、二人が向かい合い、その間に一人が寝て、もう一人が寝ている人をジャンプしながら向かい合う二人に突きをしました。これは、道場で練習しているのでも、難しくなりました。腰のひねりや、突きの速さに気を付けて練習しました。

3日目
・エアロビックス
音楽に合わせて、ステップや突きをしました。とてもしんどかったけど楽しい練習でした。相手には、リズム感が大事だと思います。

三日間も、練習場はとっても暑かったです。先生方から、まさに水分補給する事の注意を受けました。

この二日間の練習は、しんどかったけどとても楽しかったです。色々な人と組手が出来て勉強になったし、今まで会えなかった人と、友達になれて良い経験になりました。また参加したいです。

TOPIKCS

本部道場にて 関東地区指導者講習会開催

・開催日：平成22年7月11日（日）

・場所：糸東会本部道場（埼玉朝霞市）
33名の参加の下、関東地区指導者講習会が開催された。

開講にあたり、関東地区協議会の野澤幸洋会長から、挨拶の中で「講習内容はまだ調整中の形なので変更の可能性もあります」との説明がされた。

次に、ご多忙中お越しいただいた糸東会村田寛会長に挨拶をいただいた。関東地区協議会有田豊理事長からの挨拶、講師の紹介が行われた。講師の先生は、遠路よりお越しいただいた兵庫県糸東会会長の諸岡祥紀先生と、新たに関東地区協議会技術本部長に就任した坂梨孝美先生のお二人。



指導の中で、先の手組以外に技の意味合いや、分解の説明も行われた。



指導者の相手を交え、真剣に取り組む受講者。

午前中は松村セイサン、午後からアーナンコウについて、形の手順だけでなく、技の意味合いを含めて丁寧な説明がされた。分解の説明では受講者が投げ飛ばされる場面も。

最後は受講者が全員の前で演武をしたが、かなりの緊張があった。緊張のお陰で全員が覚えることが出来た様子であった。結びとして講師ら講評をいただき、野澤会長からは今回講習された形が調整、審議検討されていく過程について説明をいただいた。

レベルアップ講習会開催

平成22年8月1・2日箇所でレベルアップ講習会が開催された。

■場所：本部道場／資格審査（師範等）
■場所：茨城市民体育館／資格審査（師範等）
■場所：茨城市民体育館／資格審査（師範等）



東日本レベルアップ講習会。

北海道にて講習会開催

助教・準師範講習会
兼師範等資格取得講習会

・開催日：平成22年9月11日（土）12日（日）

・場所：札幌市南区体育館

9月11・12日の二日間、北海道札幌市にて「平成22年度全日本空手道連盟糸東会助教・準師範講習会兼師範等資格取得講習会」が開催された。講師には、新居正副会長、岩田源三理事長、野澤幸洋副理事長の3先生を迎え、緊張感のある講習会となった。

今回の講習会には、資格者15名（師範更新5名・師範新規1名・準師範新規3名・助教更新1名・助教新規5名）及び聴講生22名（一般3名・高校生2名・中学生5名・小学生12名）が参加した。

平安彰、指定形の確認・松村セイサン、



3講師と共に集合写真。

事務局からの連絡

アーナンコウの指導が行われ、講師の先生方の重要なポイントを繰り返す丁寧な指導に、資格者はもちろん聴講生も真剣に関心入り、充実した講習会であった。

1. 新支部の承認について

①福島県日和田支部明向館
支部長 中東松先生

②鹿児島県鹿屋支部
支部長 上之原俊二先生

2. (株)東海堂の道衣について

株式会社東海堂と道衣制作販売について契約を結びましたので、ご利用ください。

3. 第5回空手道糸東会

全国選手権大会の開催日程について

■日時：平成23年8月14日（日）～15日（月）の二日間

■会場：東京武道館

空手道糸東会 季刊「三三八号

発行日 平成二十二年十一月一日

発行所 全日本空手道連盟糸東会事務局

〒351-0033 埼玉県朝霞市浜崎3-8-11

TEL 0488-4766-3818

FAX 0488-4766-3869

郵便振替口座00140-9-89014

加入者名／空手道糸東会